

## R4「市長と語るんまいけ」での提言等と回答要旨について

### 西加積地区

提言等の項目	R4に開催の「市長と語るんまいけ」		
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨	進捗状況(R5.3.31現在)
①市庁舎のダイヤルイン	令和4年10月11日より市役所各課が直通電話になるということだが、慣れていない職員が市民に対応することが心配だ。思いやりのある対応をしてもらえよう、職員の皆さんに指導をお願いしたい。	令和4年10月11日より市庁舎に各課への直通電話を導入します。電話に出る職員の接遇の指導を徹底します。	職員の接遇については、資質の向上に努めているところです。また、ダイヤルイン導入にあたり、直通電話を受ける際の注意事項を通知したところであり、今後も接遇の指導を徹底していきます。
②海洋深層水	滑川市では海洋深層水が主にタラソピアや海洋深層水トマト、海洋深層水天日塩に活用されている。入善町でも海洋深層水の活用が進んでいるが、そこに比べて滑川市は劣ると思う。今後、海洋深層水をどのように活用していくか市としての考えは。	令和4年9～10月に実施しているタラソピアに関するアンケートの結果等も参考にしながら、海洋深層水の活用について考えていきます。海洋深層水はタラソピアなどの水産分野ではないところで、今後どのような地域資源として磨き上げていくかが課題であると考えています。ホテルイカと併せて大切な地域資源であるため、新たな海洋深層水事業も考えていきます。	海洋深層水活用の新たな取り組みとして、深層水を使った水風呂を1つの目玉としたサウナイベントを民間事業者と連携し開催したところ、大変好評でした。今後も滑川漁港周辺全体の土地利用のあり方も含め、海洋深層水の更なる活用方法を検討していきます。
③YouTubeチャンネル	市の公式YouTubeチャンネルを活用して情報発信をしてはどうか。	滑川市の情報発信が他自治体と比べて劣っていると感じたため、SNSやHP等での情報発信を増やしています。YouTubeを含め、様々な形で情報発信に取り組んでいきたいと考えています。	—
④ふるさと納税	滑川市のふるさと納税の状況は。	令和3年度の寄附金額の実績は約37,000千円です。今後もポータルサイトや返礼品数を増やし、寄附金額の増加に繋げていきたいと考えています。	令和4年12月より、「楽天ふるさと納税」、「ANAのふるさと納税」の寄附受付を開始しました。令和4年度の寄附金額の実績は約55,000千円です。

## R4「市長と語るんまいけ」での提言等と回答要旨について

### 西加積地区

提言等の項目	R4に開催の「市長と語るんまいけ」		
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨	進捗状況(R5.3.31現在)
⑤中学校の外部指導者	市内中学校の部活動では外部指導者の導入はどの程度進んでいるのか。予算はどこから下りているのか。また、運動部だけでなく文化部に対しても指導者の配置をお願いしたい。	市内中学校の部活動では、部活動指導員5名、スポーツエキスパート11名を配置し中学生の指導をしています。部活動指導員は顧問の先生がいない場合でも指導や大会等の引率ができ、5名の中には先生のOBや競技ライセンスを持っている方がいます。スポーツエキスパートは主に競技経験のない顧問が配置された部活動に配置されています。土日を中心に中学生に対して技術指導をしています。国・県の補助金を活用し事業を展開しています。令和4年度から滑川中学校の男女バトミントン部が休日部活動の地域移行化モデル事業の対象となりました。休日部活動での先生の負担軽減等を目的に実施しており、国の補助事業を活用しています。このモデル事業は運動部だけでなく文化部も対象となるため、活用を検討していきます。	部活動指導員については、人員の拡充を計画しており、部活動の地域移行についても、引き続き国・県の補助金を活用しながら、学校、関係団体と連携し進めていきます。
⑥成年後見人制度	成年後見人制度は認知症、知的障がい者、精神障がい者等を法律面で支援する制度であり、令和3年は全国で39,809件の申し立てがあった。そのうち、富山県では425件、市町村への申し立ては93件であった。令和3年の市への申し立て件数は何件か。	後日回答します。	令和3年度の市長申立の実績はありません。
⑦成年後見人制度	令和4年8月13日の北日本新聞に掲載されていたが、成年後見人制度の利用者は全国で約24万人、うち富山県では約2,400人であり、この制度の利用は進んでいない状況である。平成28年に成年後見人制度の利用促進法ができ、市町村において成年後見人制度利用促進計画を策定しなければならないとのことである。市成年後見人制度利用促進計画は市地域福祉計画と一体して策定すると令和3年12月31日現在の県社会福祉計画に記載されていたが、現在の状況は。	後日回答します。	成年後見制度利用促進計画は、令和3年度に策定した市地域福祉計画に盛り込んでいます。また、令和5年4月1日より、地域包括支援センター内に成年後見サポートセンターを設置予定としており、これまで以上に利用支援に努めていきます。
⑧成年後見人制度	各市町村には成年後見人制度を支援する条例や規則があるが、滑川市の状況は。	後日回答します。	滑川市成年後見制度利用支援事業実施要綱にて定めています。

## R4「市長と語るんまいけ」での提言等と回答要旨について

### 西加積地区

提言等の項目	R4に開催の「市長と語るんまいけ」		
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨	進捗状況(R5.3.31現在)
⑨民生委員や保護司等の選任	町内の中では、定年延長等もあり、民生委員や保護司等の役職をお願いしても引き受けてくれる人が少ない。選任の方法や報酬、定年年齢や区域割りについて抜本的に見直し、対策をとる必要があるのではないかと。また、市職員も町内への押しつけではなく、率先して町内に関わりを持つような職員教育が必要ではないかと。	民生委員や保護司等の担い手不足や負担が大きくなってきている問題などから、役割分担や時代の流れに合った地域コミュニティのあり方などを考える組織づくり等を検討していきます。市職員は消防団や各スポーツ団体の事務局などに所属しています。今後も市職員が地域社会に貢献するよう、地域との関わりを今まで以上に密にしていきたいと考えています。	複雑化する地域社会においては、民生委員や保護司の方々の力が不可欠ですので、より一層連携して行きたいと考えています。抜本的な見直しについては、国・県へ働きかけていきます。また、日頃から職員に対しては、地域社会に貢献するよう、積極的に地域に関わるよう働きかけています。
⑩町内の掲示板	宮窪台の団地のゴミ集積所横にある掲示板が老朽化しており、町内で業者に見積もりをとったところ、約30～45万円ほどであった。掲示板には市や市防犯協会、西加積認定こども園の広報物が掲示されており、町内会としての広報物はほとんど掲示していない。市として掲示板の更新に係る補助金を検討してほしい。	まずは現場を確認し、各町内の状況を調査した後に返答します。	市では平成2年度から「滑川市町内会掲示板設置事業補助金交付要綱」に基づき、町内会に対し掲示場設置に係る経費の一部を助成してきましたが、補助事業の活用を要望する町内会があまりないこと、ほとんどの町内会での設置が概ね完了したことから、平成18年度に廃止しました。
⑪土曜授業	令和4年4月から市内小中学校での土曜授業を廃止し半年が経過したが、PTAや教職員の意見はどうか。	コロナ禍前の土曜授業では、地域の方を招いての交流や学習参観、PTA活動などを実施していましたが、コロナ禍でそのような活動ができなくなりました。教職員の中には自分の家庭のための時間が増えて良かったという意見も出ています。保護者からは、子供がスポーツクラブ活動を休む必要がなくなり良かったという意見も出ています。	土曜授業が廃止されたことについて、令和4年12月に保護者・児童生徒・教員にアンケートを実施しました。その結果は市HPにて公開しております。
⑫江尻町内の用水	江尻町内の旧上市川である用水が完成してから1度も川浚いされておらず、砂・泥が溜まり、雑草が生えている状態である。新富町にある用水は業者が年に2回程度川浚いをしている。何とかしてもらえないか。	現場と川の管轄を確認します。	管理者である県の立山土木事務所が、令和4年11月に一部区間の浚渫を実施しました。

## R4「市長と語るんまいけ」での提言等と回答要旨について

### 西加積地区

提言等の項目	R4に開催の「市長と語るんまいけ」		進捗状況(R5.3.31現在)
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨	
⑬小学校通学区域	ニュータウン下島の造成地は下島町町内会であるが、小学校区は田中小学校と西部小学校になっている。住民運動会では親と子供が別々の地区に参加することになる。この問題に対しての市の考えは。	小学校区は基本的には町内会単位で決められており、沖田新下島町内会は西部小学校、下島町町内会は田中小学校へ通学することになっています。この地域の通学区域の整理を検討したいと考えています。通学区域については小中学校通学区域審議会を設けています。以前まで審議会は10年に1回程度の頻度で開催されていましたが、宅地造成の多さも鑑み、5年に1回程度開催することとしています。今回は令和5年度に審議会の開催を予定しており、該当場所の通学区域について検討していきます。	—
⑭中川放水路	宮窪台の団地横を流れる中川放水路に雑草・雑木が生えている状態である。中川放水路の管轄はどこになるのか。	県の管轄であるため、県新川土木センターへ連絡をします。	令和4年10月に富山県新川土木センターに連絡しました。
⑮市道滑川・富山線の融雪装置	市道滑川・富山線で中滑川駅周辺は融雪装置があるが、富山市方面へ設置を延長する計画はないのか。	地下水がないため融雪装置を延長することは難しいと考えています。冬に備え除雪体制を再確認していきます。	—
⑯除雪費の支援	上小泉町内では県道・市道以外の約1,000世帯分の生活道路の除雪を行っています。令和2年・3年の大雪で町内会で計約700万円の除雪費がかかった。令和3年に自治会連合会を通して市へ除雪費の支援を要望したが却下された。支援の再考をお願いしたい。	地域ぐるみの除排雪に対する市からの支援について検討していきます。	市では市道の約7割を除雪していますが、残り3割は地域の協力により除雪していただいています。除雪に係る費用への支援については、市内各地域の除雪状況を把握し精査した上で対策を検討したいと考えています。

## R4「市長と語るんまいけ」での提言等と回答要旨について

### 西加積地区

提言等の項目	R4に開催の「市長と語るんまいけ」		進捗状況(R5.3.31現在)
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨	
⑰滑川高校	<p>少子化により滑川高校の存続が心配である。県内の他の高校では令和5年度から定員数が削減されることも聞いている。小・中学校のレベルで、滑川高校へ入学したいと思わせるような雰囲気は何らかの形でできたらいいと思うため、市として何か考えてほしい。</p>	<p>現在の滑川高校は1学年に普通科2学級、商業科・薬業科・海洋科がそれぞれ1学級ずつの定員となっています。滑川高校の校長からは商業科・薬業科・海洋科は滑川高校の特色でもあり、特色を全面に打ち出していきたいと聞いています。また、普通科も他の高校とは違った特色を出していきたいと聞いています。</p>	—
⑱小学生の登下校の見守り活動	<p>小学生の登下校の見守り活動をしているが、ボランティアでやってくれる人がなかなか見つからない。各学校区でのボランティアの確保や決まりごとについてのノウハウがあれば教えてほしい。</p>	<p>見守り活動についていつもご協力いただき感謝しているところです。教育委員会では詳細について把握しておらず、各町内会に任せているのが現状です。</p>	<p>各町内会と学校で協力連携しながら児童生徒の安全確保に努めているところです。</p>